



令和8年3月23日
鉄道局技術企画課

第22回「超電導磁気浮上式鉄道実用技術評価委員会」の開催結果について

技術開発基本計画に基づく技術開発の状況について、JR東海と鉄道総研より標記委員会に報告され、技術開発基本計画に基づく技術開発の終了が了承されました。

超電導リニアの技術開発については、平成2年の運輸大臣通達（当時）に基づき、JR東海と鉄道総研が共同で作成した「超電導磁気浮上方式鉄道技術開発基本計画（以下、「技術開発基本計画」という。）」により推進されています。

本年度までの技術開発の成果によって、技術開発基本計画における技術開発課題の網羅的な検証が完了することから、技術開発基本計画に基づく技術開発の終了について、了承されましたので、お知らせいたします。（別添資料参照）

超電導磁気浮上式鉄道実用技術評価委員会委員（敬称略、委員50音順）

委員長	森 地 茂	政策研究大学院大学名誉教授
委員	上 野 照 剛	東京大学名誉教授
〃	大 崎 博 之	東京大学教授
〃	古 関 隆 章	東京大学教授
〃	須 田 義 大	東京工科大学教授
〃	竹 内 健 蔵	東京女子大学教授
〃	辻 本 誠	東京理科大学名誉教授
〃	永 井 正 夫	東京農工大学名誉教授
〃	藤 野 陽 三	城西大学学長

（参考）

開催日時 : 令和8年3月23日（月）9：30～
場 所 : 中央合同庁舎3号館 11階特別会議室

連絡先：鉄道局技術企画課技術開発室

担当者：五十嵐、松林

電 話：03-5253-8111（内線40754）

直 通：03-5253-8547

超電導磁気浮上式鉄道 実用技術評価委員会
技術開発状況に関する実用技術評価のとりまとめについて

令和 8 年 3 月 2 3 日

1. 技術開発基本計画に基づく技術開発の終了について

超電導リニアの技術開発は、平成 2 年の運輸大臣通達「超電導磁気浮上方式鉄道に係る技術開発の円滑な推進について」に基づき、公益財団法人鉄道総合技術研究所及び東海旅客鉄道株式会社（以下、「JR東海」という。）によって策定された「超電導磁気浮上方式鉄道技術開発基本計画（以下、「技術開発基本計画」という。）」により推進されている。

本年度までの技術開発の成果によって、技術開発基本計画における技術開発課題の網羅的な検証が完了することから、技術開発基本計画に基づく技術開発は終了となる。

2. 今後の進め方

JR東海はリニア中央新幹線の建設工事を進めるとともに、開業に向けて引き続き走行試験を行う予定であることから、国土交通省は有識者による検討会等によりその状況を確認し、必要に応じて技術基準等に反映させることが望ましい。